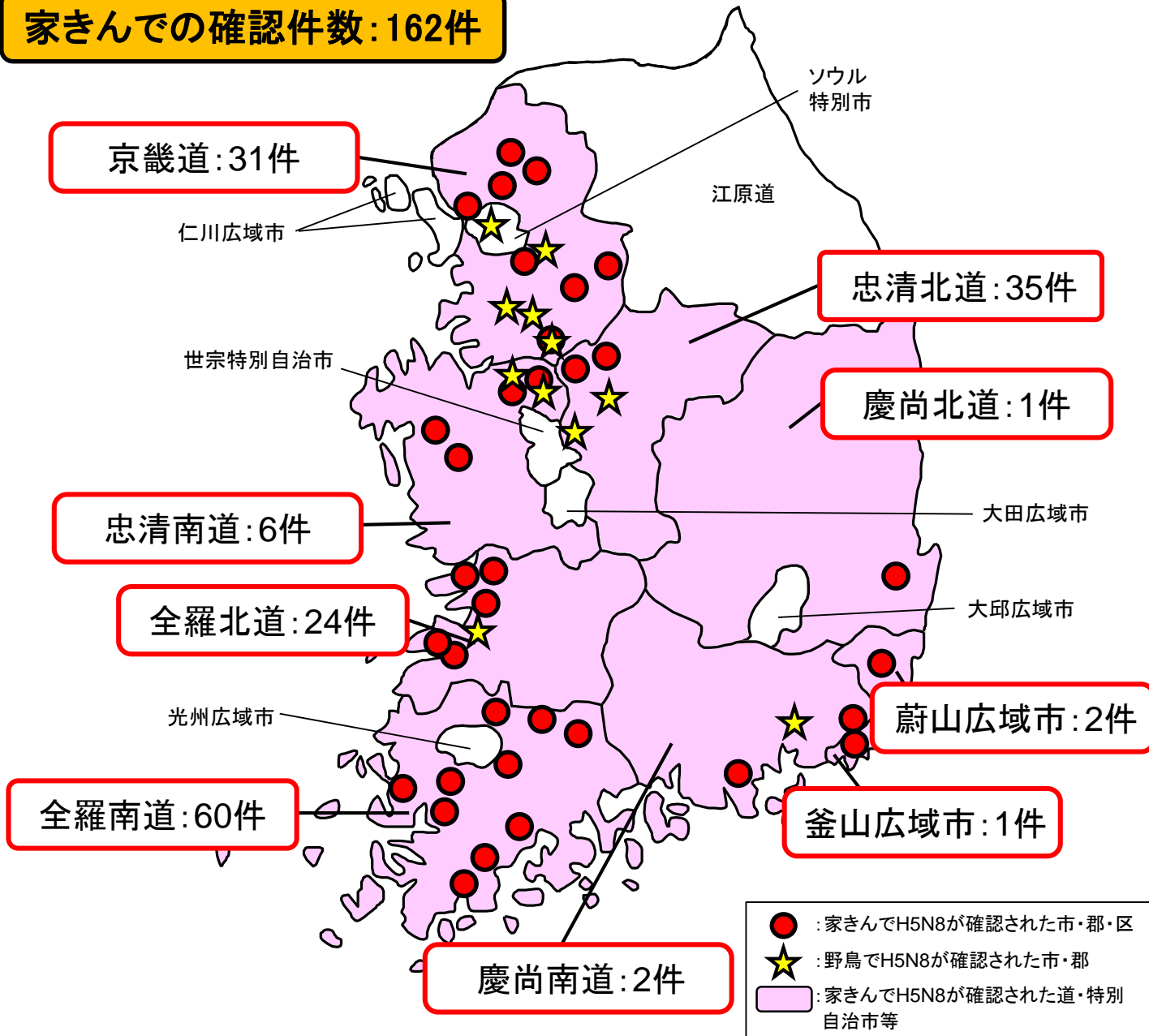


韓国における高病原性鳥インフルエンザ (H5N8亜型)の発生状況(2014年9月~2015年6月)

家きんでの確認件数: 162件



※ 日付は申告日
※ 出典: OIE、韓国農林畜産食品部 等

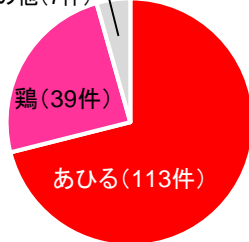
【家きんでの発生・対応状況】

○ 殺処分状況(7月14日時点)

- ・ 殺処分完了: 511万羽(234農家)
- ・ 発生農場、疫学関連農場、各発生農場周囲の農場(500m又は3km内を対象)

* 韓国農林畜産食品部公表資料を基に作成。
162件のうち3件の鳥種については詳細不明。

家きんの種別確認件数(159件)*
その他(7件)



【野鳥での検出・対応状況】

1 野鳥検査(7月14日時点)

- ・ 陽性: 20件(マガモ4件、カルガモ3件、コガモ2件、アオサギ1件、ヒシクイ1件、オカヨシガモ1件、ヒドリガモ1件、糞便等7件)

2 対応

- ・ 野鳥の検出地点から10km内の家きん農場の移動制限措置、30km内の家きん農場の臨床調査、周辺道路・家きん農場の消毒

更新点: OIEへの報告を基に発生件数を修正(159件→162件)。

韓国における高病原性鳥インフルエンザの発生状況

	発生期間	発生件数	殺処分数	血清亜型
1	2003年12月10日 ～2004年3月20日 (102日間)	19件 (鶏10件、あひる9件)	392農場 528万5,000羽	H5N1
2	2006年11月22日 ～2007年3月6日 (104日間)	7件 (鶏4件、あひる2件、うずら1件)	460農場 280万羽	H5N1
3	2008年4月1日 ～5月12日 (42日間)	33件 (鶏26件、あひる7件)	1,500農場 1,020万4,000羽	H5N1
4	2010年12月29日 ～2011年5月16日 (139日間)	53件 (鶏18件、あひる33件、うずら等2件)	286農場 647万3,000羽	H5N1
5	2014年1月16日 ～7月25日 (191日間)	212件(29件+183件※) (鶏44件、あひる159件、うずら等9件)	548農場 1,396万1,000羽	H5N8

※: 発生農場周辺及び疫学関連農場等において陽性が確認されたもの

出典: 韓国農林畜産食品部、韓国養鶏協会等